

九条の会

2006・5・19

第 69 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「全国交流集会」を新たな飛躍の場に

全都道府県から参加申し込み

「九条の会」全国交流集会への参加申し込みが締め切れ、集会への期待を反映して全国 47 のすべての都道府県の地域・分野の「会」から、会場定員を上回る参加申し込みがありました。

集会運営委員会は、「九条の会」発足満 2 周年の節目の日にかかれる全国交流集会を、全国の豊かな運動の経験を交流し、新たな飛躍への第一歩となるよう、これまで 4 回の会合を開き、交流集会の運営について協議をおこなってきました。主な内容はつぎのとおりです。

【全体会】 (午前 11 時～12 時 30 分＝日本青年館)

- ・「九条の会」よびかけ人あいさつ (5～6 人出席の予定)
- ・いくつかの「会」の活動報告

【分散会】 (13 時 30 分～16 時 30 分＝日本青年館と近隣の 14 会場)

- ・発言は 1 人 5 分
- ・配布資料は、1 つの「会」から A 4 判 1 枚に限り 6 月 2 日までに集会事務局に。(準備の都合で早めさせて下さい)

全国交流集会参加券発送について

「九条の会」全国交流集会への参加申し込みありがとうございました。

重複申込みなど若干の調整と分散会の組み分けをおこなった上、来週後半以降から参加券発送の作業を開始します。

(事務局)

「九条の会埼玉講演会」に 3500 人

「九条の会」が主催する「埼玉講演会」が 5 月 9 日開かれ、第 2 会場も埋め尽くす 3500 人が参加しました。

この日の講演会では、「九条の会」からは大江健三郎、加藤周一、澤地久枝の 3 氏が参加し、それぞれの持ち味を活かした講演をおこないました。参加者は時には共感の拍手をおくりながら熱心に聞き入り、「参加してよかった」の感想が数多く事務局に寄せられました (別項)。

なお、この日の講演会を成功させるために、次の方々が県民に参加をよびかけました。石井節子 (県地域婦人会連合会顧問)、遠藤順子 (弁護士)、大田堯 (東京大学名誉教授)、加藤克巳 (歌人・元日本歌人協会会

長)、金子兜太(俳人・芸術院会員)、谷大二(カトリックさいたま教区司教マルセリーノ)、且保哲夫(真宗大谷派・宗泉寺住職)、肥田舜太郎(被爆者・医師)。

《埼玉講演会の感想から》

◎満員の参加者が呼びかけ人の話を聞きもらすまいと張りつめた空気の中で、「憲法9条、いまこそ旬」の思いを共有できました。中でも大江健三郎さんの話は、戦後の荒廃の中で見つけた憲法、教育基本法の「希求」の文字の大きさ、尊さ。教育基本法を今国会でけっして変えさせてはいけな思いました。

◎9条の大切さをヒシヒシと感じました。絶対にこの宝物を守り抜かなければと思えます。たくさんの人々にわかってほしいです。また開いてください。

◎大変有意義な講演会でした。会場では中高年が目立ちましたが、今後は若い人たちや改革ムードに流されている人たちに9条や教育基本法をわかりやすく説明して理解を得るようにしていかなければならないと思えます。マスコミやネットをまき込んで改正を許さない流れにしたいですね。

3氏が記者会見で2年間の感想

講演会に先立っておこなわれた記者会見で、『九条の会』は草の根で4千を超えたというが、当初立ち上げたときに、こういうことを予想したか」との質問に、3氏は次のように答えました。

澤地久枝 療原の火という言葉があるが、こんなに早い時期に広がるとは予想していたわけではない。ただ、広がらなければいけないと思ったから、一生懸命努めた。こういう日々がもどかしい、なんとかして

憲法に手をつけられるのを阻止したいと、どうしたらもっと即効性のあるたたかいがあるかという質問に会う。でも60年あまりかけて落ち込んだこの国が一朝一夕によくなると、私は思っていない。これは気長にやることになると思っている。

加藤周一 私も同じような感想だ。2年前には、これほど賛同者が増えるとは思わなかった。もちろん、今までしゃべらなかった人も条件があれば発言するだろう。発言すれば、みんなおとなしく政府に言うことに従っているのではなく、批判的な意見、憲法を守ろうという人も随分あるだろうと予想した。だけど、これほどとは思わなかった。そういう意味で予想以上だ。現在も賛同者が増え、九条の会が各地にできている。どこまで伸びるかわからない。十分に伸びれば九条を守りとおすことができると思う。やってみないとわからないが、希望は出てきている。予想以上に大きな希望だと思う。

大江健三郎 九条の会をはじめようというとき、私はあまり楽観的ではない人間だが、この会は広がると考えていた。広がっていくことで意味が生じると思った。最初によびかけ人は重要じゃない。呼びかけに答える人ができて、その人たちが会をつくって、呼びかけていかれる、そこから運動が始まると考えていた。いま5千に迫る会ができて、それもみんな自立した会だ。指導者、規約があるわけでもない。非常に自由な会が、ただ憲法9条を守ろうという方向づけで集まっている。それが九条の会だ。加藤さんが希望があるといったことを喜ばしいと思って聞いている。